

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2002-218258(P2002-218258A)

【公開日】平成14年8月2日(2002.8.2)

【出願番号】特願2001-9696(P2001-9696)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/46 C

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

G 0 3 G 15/01 R

G 0 3 G 15/01 S

G 0 3 G 21/00 3 7 6

G 0 6 F 3/12 L

G 0 6 T 1/00 5 1 0

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置および画像処理装置の制御方法および記憶媒体およびプログラム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カラー画像データを入力可能な入力手段と、
前記入力手段により入力される画像データを記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力手段と、
カラー画像データを白黒画像データに変換する変換手段と、
前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであるかを示す情報を表示する表示手段と、
前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第 1 の出力モード、又は該画像データ

を前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第2の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 前記出力手段による出力時に、前記第1の出力モード又は前記第2の出力モードを選択する選択手段をさらに有することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】 前記表示手段は、前記記憶手段に記憶された画像データがカラー画像データと白黒画像データが混在する混在データであった場合に、該画像データが混在データであることを示す表示を行うことを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項4】 前記表示手段は、前記記憶手段に記憶された画像データがカラー画像データと白黒画像データの混在データであった場合に、該画像データがカラー画像データであることを示す表示を行うことを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項5】 前記記憶手段に記憶された画像データがカラー画像データと白黒画像データが混在する混在データであった場合に、前記表示手段に、該画像データが混在データであることを示す情報を表示するか、カラー画像データであることを示す表示を表示するかを切り換える表示切換手段をさらに有することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項6】 カラー画像データを入力可能な入力工程と、
前記入力工程で入力される画像データを記憶手段に記憶する記憶工程と、
前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力工程と、
カラー画像データを白黒画像データに変換する変換工程と、
前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであることを示す情報を表示する表示工程と、

前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第1の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第2の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御工程とを有することを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項7】 カラー画像データを入力可能な入力工程と、
前記入力工程で入力される画像データを記憶手段に記憶する記憶工程と、
前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力工程と、
カラー画像データを白黒画像データに変換する変換工程と、
前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであることを示す情報を表示する表示工程と、

前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第1の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第2の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御工程を実行させるためのプログラムをコンピュータが読み取り可能に記憶した記憶媒体。

【請求項8】 カラー画像データを入力可能な入力工程と、
前記入力工程で入力される画像データを記憶手段に記憶する記憶工程と、
前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力工程と、
カラー画像データを白黒画像データに変換する変換工程と、
前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであることを示す情報を表示する表示工程と、

前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第1の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第2の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御工程を、コンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、入力されるカラー画像データを記憶し、該記憶された画像データを読み出して出力する画像処理装置および画像処理装置の制御方法および記憶媒体およびプログラムに関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る第1の発明は、カラー画像データを入力可能な入力手段と、前記入力手段により入力される画像データを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力手段と、カラー画像データを白黒画像データに変換する変換手段と、前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであるかを示す情報を表示する表示手段と、前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第1の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第2の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御手段とを有するものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る第2の発明は、前記出力手段による出力時に、前記第1の出力モード又は前記第2の出力モードを選択する選択手段を有するものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る第3の発明は、前記表示手段は、前記記憶手段に記憶された画像データがカラー画像データと白黒画像データが混在する混在データであった場合に、該画像データが混在データであることを示す表示を行うものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明に係る第4の発明は、前記表示手段は、前記記憶手段に記憶された画像データが

カラー画像データと白黒画像データの混在データであった場合に、該画像データがカラー画像データであることを示す表示を行うものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明に係る第 5 の発明は、前記記憶手段に記憶された画像データがカラー画像データと白黒画像データが混在する混在データであった場合に、前記表示手段に、該画像データが混在データであることを示す情報を表示するか、カラー画像データであることを示す表示を表示するかを切り換える表示切換手段をさらに有するものである。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明に係る第 6 の発明は、カラー画像データを入力可能な入力工程と、前記入力工程で入力される画像データを記憶手段に記憶する記憶工程と、前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力工程と、カラー画像データを白黒画像データに変換する変換工程と、前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであることを示す情報を表示する表示工程と、前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第 1 の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第 2 の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御工程とを有するものである。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明に係る第 7 の発明は、カラー画像データを入力可能な入力工程と、前記入力工程で入力される画像データを記憶手段に記憶する記憶工程と、前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力工程と、カラー画像データを白黒画像データに変換する変換工程と、前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであることを示す情報を表示する表示工程と、前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第 1 の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して前記出力手段に出力する第 2 の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御工程を実行させるためのプログラムを記憶媒体にコンピュータが読み取り可能に記憶させたものである。

本発明に係る第 8 の発明は、カラー画像データを入力可能な入力工程と、前記入力工程で入力される画像データを記憶手段に記憶する記憶工程と、前記記憶手段に記憶された画像データを出力する出力工程と、カラー画像データを白黒画像データに変換する変換工程と、前記記憶手段に記憶された画像データが白黒画像データであるかカラー画像データであることを示す情報を表示する表示工程と、前記記憶手段に記憶された画像データがカラーである場合に、該画像データを白黒画像データに変換することなく前記出力手段に出力する第 1 の出力モード、又は該画像データを前記変換手段により白黒画像データに変換して

前記出力手段に出力する第２の出力モードによる出力処理を選択的に実行する制御工程を、コンピュータに実行させるためのプログラムである。

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１４１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１４１】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る第１～８の発明によれば、入力手段により入力され記憶手段に記憶された画像データがカラー画像データである場合、該画像データを白黒画像データに変換することなく出力手段に出力する第１の出力モード、又は該画像データを変換手段により白黒画像データに変換して出力手段に出力する第２の出力モードによる出力処理を選択的に実行することにより、ユーザがカラーで入力して記憶している文書を、ユーザが出力時に自由にカラーもしくは白黒でプリントすることができる。